日本粧業

第一一一號

業界再建の目標

一、業界の再建は、業界の態度をそのまゝ再現することではない。從て新らしい構想の下に計畫されたい所存。發揚たる創作的のものでなければならない。

一、業界の再建は、新らしき業界文化の上立脚らしき創造と科學の力に根ざすものでなくてはならない。

一、業界の再建に參加し得る資格あるものは、左の如き條件を具備するものに限る。

1・現に優秀商品を生産し得る技術と施設とを有するもの。

2・最近數年間の實績に於て、その製品が非ざれば、一切の製品を生産し得ないことを理想としてゐるもの。

3・再建業務に於ては、國民生活に於ける贈品的製品乃至機械乃至物資として、その生産を許さないことにしたけれはならない。

4・再建業務に於ては、營利の爲に非ずして、營利を超越することを理想としてゐるもの。

5・業界の再建は、單に生活に於ける命に對する責任を果すものでなくてはならない。又その使命を果すものでなくてはならない。

6・業界の再建は、單に生活に於ける命に對する責任を果すものでなくてはならない。又その使命を果すものでなくてはならない。

一、業界の再建は、過剰人口の就り込み防止をはかるものに、業界の過剰な組織を整理し他の國との比較に於ても、業界の組織を著しく擴大するものであつてはならない。

一、再建業務に於ては、營利を目的とする事業は、これを許さないことにしたけれはならない。

一、業界の再建は、單に生活に於ける命に對する責任を果すものでなくてはならない。又その使命を果すものでなくて

新生業界の方途

1、繊維工業

日本化纖協會理事長　板倉安兵衛

終戰以來、日本化纖品工業發展の方途は、一に繊維原料の獲得如何にかかつてゐたと言つても過言ではない。

この點、大藏當局の理解ある措置により、昨年度下期分の原料パルプ、薬品の割當は、上期分に比べ、ほぼ倍額の割當を受けるに至つた。

この結果、昨年度下期の生産は、上期分の約二倍に當る一萬二千瓲を突破し、本年度上期分の生産は、一萬五千瓲を突破し、下期分は、二萬瓲を突破する豫定である。

この豫定は、原料パルプ、薬品の割當が、本年度上期分と同額程度に維持されるならば、容易に達成し得る數字である。

本年度上期分の原料パルプ、薬品の割當は、昨年度下